

《履修上の留意事項》【面接授業のみ実施】

《担当者名》近藤 尚也

【概要】

心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目。
知的障害の心理特性について発達支援の視点を中心に学習する。また、心理アセスメントとその活用方法について概要を学ぶ。
知的障害者の心理とともに、生理・病理についても触れていく。

【学習目標】

- 1 知的障害の心理特性と生理・病理について、発達支援の視点から理解できる。
- 2 発達支援のためのアセスメントについて、基礎的理解を習得する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	知的障害の概念	障害・知的障害の概念や定義・分類・類型について学ぶ。	近藤
2	心理機能の概要と知覚・認知	知的障害の感覚・知覚・認知特性について学ぶ。	近藤
3	知的障害と記憶	知的障害の記憶や注意機能の特性について学ぶ。	近藤
4	知的障害と言語	知的障害の言語・コミュニケーションの特性について学ぶ。	近藤
5	知的障害と学習・問題解決	知的障害の学習と問題解決の支援方法について学ぶ。	近藤
6	知的障害と動機づけ、運動	知的障害の動機づけと運動動作の特性について学ぶ。	近藤
7	心理検査の概要	様々な心理検査について概要を学ぶ。	近藤
8	心理検査法1	知能検査の概要とその活用について学ぶ。	近藤
9	心理検査法2	発達検査の概要とその活用について学ぶ。	近藤
10	知的障害の生理的理解	知的障害に関して生理的視点からの支援がイメージできる。	近藤
11	知的障害と関連する諸障害1	てんかん・ダウン症等の関連する疾患・障害について概要を学ぶ。	近藤
12	知的障害と関連する諸障害2	学習障害、注意欠陥/多動性障害等の発達障害との関連についてイメージできる。	近藤
13	行動の理解と支援1	知的障害の特性から対人関係・社会性等の2次的障害についてイメージができる。	近藤
14	行動の理解と支援2	心理・生理・病理特性に配慮した地域生活や就労等の自立生活のイメージができる。	近藤
15	まとめ	全体の総括	近藤

【評価方法】

レポート（100%）により評価する。試験については原則学生に対し個別に振り返りを行う。

【備考】

教科書：特別支援児の心理学 理解と支援（新版） 梅谷 忠勇/生川 善雄/堅田 明義 北大路書房（2015）

参考書：知的障害の心理学 - 発達支援からの理解 - 小池敏英・北島善夫 北大路書房
その他必要に応じて提示する。

【学習の準備】

今回の授業のテーマについて教科書該当箇所を読み予習しておくこと（80分）。授業内容を参考に教科書・資料を用いて復習を行うこと（80分）。分からない点などについては、授業の際に質問すること。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「特別支援教育に関する科目」（特別支援教育領域に関する科目）

心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 / 中心となる領域：知的障害者 / 含む領域：なし

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

障害福祉サービス事業所での実務経験をもとに知的障害者の心理特性と生理・病理について講義する。